

**令和2年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 まちなかにぎわい 課

1. 基本情報

1102

施設名	伊丹市立観光物産ギャラリー		
施設の設置目的	観光物産事業の振興を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 伊丹都市ブランド戦略の推進		
指定管理者の名称	伊丹まち未来株式会社 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前2-2-2		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来場者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間来客者数	
	今年度の目標値	34,500	今年度の実績値 31,367

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H28	H29	H30	R元	R2(上期)	R2(通期)
	来館者数(人)		18,338	30,545	37,427	36,527	39,282	14,886

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

※R元より指定管理者変更

※R2より指定管理業務限定に変更

3. 経費情報

		区分	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	3カ年平均
収入		使用料収入	0	0	0	0
		事業収入	27,833	26,269	0	18,034
		その他	8,498	0	0	2,833
		指定管理委託料	9,330	16,492	16,983	14,268
		①合計	45,661	42,761	16,983	35,135
支出	維持管理	光熱水費	2,758	2,190	2,085	2,344
		清掃等委託料	1,857	1,745	1,832	1,811
		土地建物賃料	25	0	0	8
		修繕料	315	816	944	692
	運営	人件費	8,653	10,680	6,190	8,508
		事業等経費	32,009	23,566	1,036	18,870
		その他	0	1,379	50	476
		指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	45,617	40,376	12,137	32,710	
純収支(①-②)			44	2,385	4,846	2,425

			H27	H28	H29	H30	R元	R2
施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>	市の収入		0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)		0	0	0	0	0	0
	市の支出		8,731	9,070	8,845	9,330	16,492	16,983
	(内、指定管理委託料)		8,731	9,070	8,845	9,330	16,492	16,983
	実質経費(歳出-歳入)		8,731	9,070	8,845	9,330	16,492	16,983

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	各委託業者と連携を取り、改修が必要な案件に関しては、市と協議の上、迅速に対応している。	B	計画的な保守点検の実施がされており、維持管理に関する軽微な情報も含めて情報連携が図れている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	全スタッフが同じスキルを持てるように研修を実施。職員配置はシフト制で適正配置に努めている。	B	適正なローテーション管理がなされており、有資格者も配置されている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	消防計画に基づき消防訓練を実施。	A	適正に実施されている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	利用者からのご意見を日誌等で吸い上げ、従業員全員の共通認識として適切かつ迅速な対応に努めた。	A	日頃から利用者の声を聴かれており、利用者目線での物産展示や、物産選定を積極的に取り組んでいる。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	コロナ禍でイベント等が実施できなかったが、市と協議しながら適切な事業展開を実施した。	B	適正に実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報等は施錠されている所に保管している。	B	積極的な情報発信に努められている。保管状況も適正である。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B	情報提供に関しては、SNS(ツイッター・フェイスブック)等を積極的に活用し実施している。	B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	本社・税理士事務所と連携、収支計画書に基づき適正に経理処理を実施。	B	予算執行及び帳簿管理は適正である。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

施設所管課総評	新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数は減少したものの、物産の効果的な展示や利用者目線での物産選定をするなど、来館者に対して伊丹市の魅力を積極的に発信された。また、緊急事態宣言等の予測不可能な事態があったものの、柔軟な施設運営が実施された。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。
「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。
「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】新型コロナウイルスの感染防止のため未実施

実施の有無	主な回答	主な対応
無し	利用者満足度調査(アンケート)に於いて、利用者様一人一人に説明してご依頼する行為が、濃厚接触にあたる為、二度目の非常事態宣言が発令されるなか、新型コロナウイルス感染症対策の観点から今回は実施を見送らせていただきました。	-
回答者数		
-		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
観光物産ギャラリーのテラス部分及び共用階段の出窓部分での(鳩)糞害が顕著である。美観・衛生上の観点から早期の美装及び(鳩)よけの設置を考えてほしい旨の意見がありました。	ギャラリーのテラス及び共有階段出窓の美装及び(鳩)よけの設置工事を実施致しました